



外野手としてベストナインに! 学生時代に夢中になることを見つけて欲しい

常三島キャンパス
生物資源産業学部
生物資源産業学科 4年

榊原 幸作 (さかきばら こうさく)

My Life Situation

部活：硬式野球部
アルバイト：飲食店 / 大学生協
趣味：音楽鑑賞(クラシック系)



硬式野球部の試合の様子。総合グラウンドで土曜日の12:00~16:00に全体練習を行っているので、入部希望者は見学へ行って見て。

硬式野球部 Instagram @tokushima_basabai
X (旧Twitter) @tokushima_bb



X (旧 Twitter)



Instagram

硬式野球部で外野手として活躍した榊原さん。四国地区大学野球連盟の表彰者選手として2022年四国地区春季(二部)、2022年四国地区大学秋季(二部)の「ベストナイン(シーズンを通して各ポジションで最も好成績を残した選手)」に選出されました。

野球を始めたのは小学生の頃。それからずっと野球を続けていましたが、高校2年の秋、大会前にデッドボールで右手を骨折。その後不調が続き、最終的にスコアラ(得点などを記録する係)としてベンチ入りし、高校での野球生活を終えました。

「まだまだ野球がしたい」。そんな思いがあり、大学でも野球部に入部。ベストナインという好成績を残して選手は引退しましたが、その後も後輩たちの応援や大会の運営サポートなどで関わっています。

野球といえばMLBの大谷翔平選手の活躍が話題ですが、榊原さんは「プロ野球よりも高校野球など、アマチュアの野球が好き。コ罗纳が収束して高校野球も声出し応援が再開され、その迫力に圧倒され、すごく感動しました。高校生ががんばっている姿を見ると元気がもらえます」と、野球の魅力について話します。

取材に伺った7月下旬は、就職活動も一段落した時期。就職は自身の研究分野だけでなく、昔から興味のある歴史に関連する仕事も検討したそう(最終的に国税専門官になると決めたそうです)。「大学4年間はあっという間。その間に好きなことや、何かひとつでも夢中になれることを見つけられるといいと思います」と学生生活を振り返りました。